

講義名称	日本史概論	担当教員名	高山 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	歴史	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	HUM131

授業のキーワード	歴史とは何か、社会体制、価値観の変容
授業の概要	日本史の流れを概観しながら、トピック別に歴史の様々な側面を学びます。歴史学の一分野としての日本史に触れてもらいます。
期待される学習成果 (目標)	1、公務員試験での頻出事項や、歴史知識の基礎を学ぶことができます。 2、中・高での歴史学習を総括することができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	はじめに	授業の進め方について説明します。日本史の学習体験についてのアンケートを実施します。
2	古代①ヤマト政権と大王	ヤマト政権による中央集権体制の形成について学びます。
3	古代②律令制と荘園	律令制のもとでの土地政策について学びます。
4	古代③源氏と平氏	源平の争乱と、武家台頭の歴史的意味について考えます。
5	中世①武家と公家	鎌倉幕府と朝廷の関係を学び、中世社会の特質について考えます。
6	中世②貿易と貨幣	日宋・日明貿易を通し、貨幣の歴史と対外関係について学びます。
7	中間のまとめ	前講までの学習を総括します。
8	近世①検地と対外政策	戦国大名の土地政策と宗教政策について学びます。
9	近世②幕政危機と改革	江戸幕府の三大改革について学びます。
10	近・現代①維新と廃藩置県	江戸末期の諸藩の政治と、近代における地方自治のはじまりについて学びます。
11	近・現代②地券と地租	明治初期の近代的税制の導入について学びます。
12	近・現代③外交と戦争	日清・日露戦争と当時の日本社会について学びます。
13	近・現代④敗戦と日本人	敗戦とその後の日本社会の変化について概観します。
14	まとめ	中間以降の講義を総括し、必要に応じて補足します。
15	まとめ	全体を総括します。大学で日本史を学ぶ意義について考えます。

定期試験	史料に基づいて歴史的事実を確認できたか、歴史用語が理解できたかを確認します。
評価方法	授業への取り組み (30パーセント)、試験 (70パーセント)
使用する教科書 (必ず購入してください)	教科書を使用せず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	佐々木潤之介ほか編『概論 日本歴史』吉川弘文館 網野善彦『日本社会の歴史』上・中・下 (岩波文庫) 宮地正人監修『日本近現代史を読む』新日本出版社